

エリアリーダーによる1人1台端末を活用した授業公開



伊万里市立東山代小学校 エリアリーダー 山口 史 教諭

単元名：せつめいのしかたに気を付けて読み、それをいかして書こう
 「紙コップ花火の作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」
 小学2年 国語科

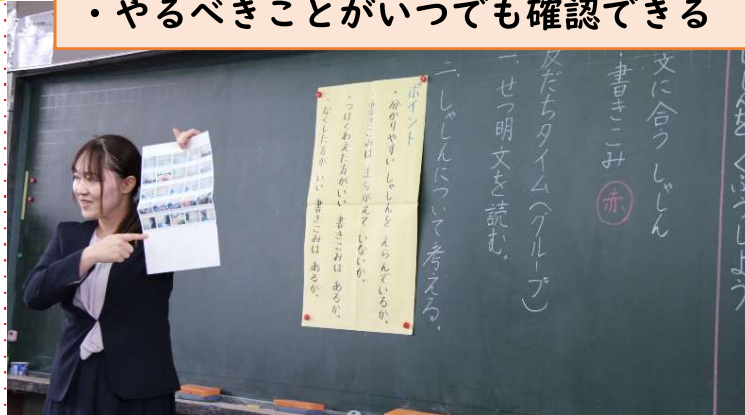
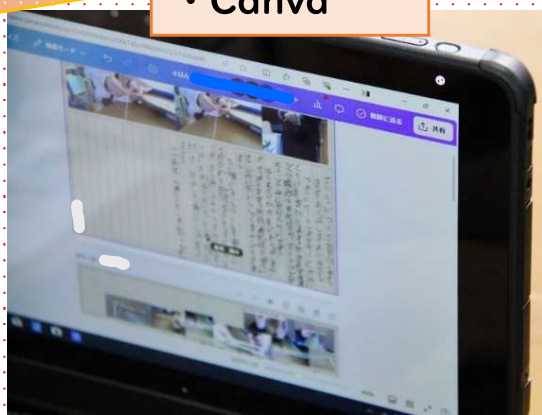
低学年での活用事例です。端末操作に慣れる段階の子どもたちに向けた、ゆとりを持った取り組みでした。子どもたちは**試行錯誤を繰り返しながらも、課題解決に向けて、端末を使って学び合いを進めていました。**

ICT活用

・ Canva

黒板の役割

・ やるべきことがいつでも確認できる



友達の「おもちゃの作り方」が共有されています。グループで一斉に参照することも可能です。

何をやるのか、何に注意して取り組むのか端的に黒板に示して、いつでも児童が見れるようにします。電子黒板にはデジタル教科書が示してあります。

←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



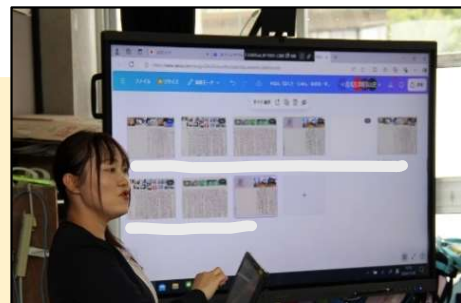
本時の流れ 全15時間(13/15)

たしかめる

- 1 前時の学習を振り返る。
- 2 本時のめあてを確認する。

つかむ

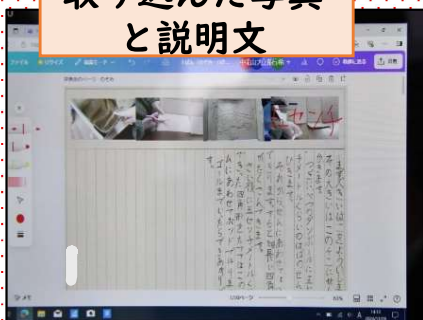
めあて: 分かりやすい説明文にするために写真を工夫しよう



深める

- 3 自分の説明文に使った写真を確認したり、書き込みをしたりする。
キーボードを使わずに、児童はいろいろな活動に取り組みます。

取り込んだ写真と説明文



スクロールして友達の説明文を参照する



画面を取り外して確認する



写真を拡大する



順番を書き込む



説明を書き込む



児童それぞれの手書きの説明文と使いたい写真をクラウド上に取り込んであるので、児童は端末上で写真の確認をしたり必要な書き込みを加えたりしました。

- 4 友達タイム(グループ)をする。

友達にアドバイスをもらい、修正をします。



クラウド上に取り込んであるので、参照する説明文がグループの中で重なっても自分のペースで読み進めることができました。児童は、説明文と写真を見比べながら、順番や語句の付け加え等のアドバイスをを行いました。

ふりかえる

- 5 本時の振り返りをする。
- 6 次時の学習を確認する。

振り返りは、紙のワークシートに行います。単元を通して1枚にまとめてあるので、児童は単元を通じた自己の学びや成長を実感できます。

